

2025 年度 事業報告（要約）

一般財団法人北海道電気保安協会

2025 年度の北海道経済は、物価上昇の影響が続く中にあっても、雇用環境の改善や賃上げの動きを背景に、個人消費は持ち直しの動きが見られました。観光についてはインバウンド需要を中心に回復基調が続いています。生産活動は一部に弱さが見られるものの、設備投資は省力化・効率化や脱炭素・DX 関連分野を中心に緩やかに増加しており、全体としては緩やかな回復基調が続いています。先行きについては、国際情勢やエネルギー価格、人手不足などの影響に留意する必要があります。

このような中、脱炭素化やデジタル化の進展を背景に、再生可能エネルギーの導入拡大や設備の高度化に向けた動きが活発化しています。北海道においても、半導体関連拠点の整備や再生可能エネルギー事業の進展により、電気設備の新設・更新や保安業務の効率化等へのニーズが高まっています。当協会では、定期調査業務及び保安管理業務を着実に実施するとともに、各種試験業務の積極的な受託に努めた結果、概ね堅調な事業実績となりました。

調査事業では、北海道電力ネットワーク株式会社から受託している一般用電気工作物の定期調査（一般家庭・商店等の電気設備の定期点検）は、着実な業務の遂行に努め、約 99 万口（計画比 99.8%、前年度比 101.2%）の実施となりました。

保安事業では、自家用電気工作物を設置しているお客さまから受託している保安管理業務は、44 軒減少の 23,479 軒（前年度比 99.8%）となりました。再生可能エネルギー発電所の受託数では、太陽電池発電所や風力発電所などは前年度から 19 軒増の 398 軒となり、バイオマス発電所については前年度から 2 軒増の 83 軒となりました。また、2023 年 2 月から開始した電気設備リース事業は、今年度も老朽化設備の更新対策として積極的に見積書の提出を行い、累計の契約件数は前年度から 44 軒増の 98 軒となりました。

これらのお客さまの増加に対応するため、積極的な新卒採用と、電気主任技術者資格取得指導を強化するとともに、保安管理業務従事者に必要な実務経験年数の短縮を可能とする講習の受講などにより、保安業務従事者の確保と育成に努めています。

公益広報事業では、電気使用安全月間及びふれあい強調月間において、お客さま訪

問や街頭キャンペーンなどの対面による活動の充実を図ったほか、自治体防災施設の安全点検などに取り組みました。さらに、日常業務を通じて電気の適切かつ安全な利用及びエネルギーの合理的な使用の啓発・周知活動、電気・省エネ相談など、さまざまな広報活動を行いました。これに加え、ホームページや X（旧 Twitter）の活用、テレビコマーシャルの放映、道内最大級のイベントである「ビジネス EXPO」への出展など、積極的な電気使用安全と節電・省エネの啓発活動を実施したことにより、2025 年度の公益目的支出額は 1 億 31 百万円（計画比 148.6%、前年度比 111.3%）となりました。

さらに、女子カーリングチーム「フォルティウス」のサポートなど地域スポーツの振興を通じた社会貢献に努めています。

また、今年度は、協会創立 60 周年という節目を迎えたことから、職員の長年にわたる貢献に感謝するためのイベント事業等を実施するとともに、当協会の活動を支えていただいている地域への貢献として、青少年の育成等を支援する団体への寄付を行いました。

以上の事業活動により、2025 年度事業収入は 2024 年度を上回ることができ、法人税等を差し引いた当期経常収益費用差額は 5 億 36 百万円となりました。

これからも電気保安の確保を通じて地域社会の発展に貢献してまいります。